

🔒 「21億円の財源不足」とは
全町民3万3000人で
計算すると…

1人あたりの負担増は
6万3000円/年



公共施設個別計画



【概要版】



【一括版】

寄居町公共施設等総合
管理計画 (町公式HP)

提言

01

議会の
視点

★だから議会は提言した
公共施設個別計画素案の
早期作成について

公共施設個別計画策定は平成32年度と
なっているが、十分な町民への説明やヒ
アリング等のためには、31年度の早い段
階での素案作成が不可欠。素案策定後、
速やかに議会・町民への説明が始め
られるよう進めてほしい。

公共施設とは、学校・役場・町営
住宅・コミュニティセンターなどの
ハコ物と上下水道・道路・橋などの
インフラで、生活に密着したものは
かり。これらを維持・更新してい
くには、今後40年間、毎年21億
円の財源不足が懸念が生じます。
また財源不足を理由に安全管理
が不十分であれば、人命に関わる大
事故につながりかねません。
少子化、高齢化、人口減少等に
より、十分活用されていない施設が
増えてきました。学校では児童生徒

解説

の減少、先生不足で教育上の弊害も
出ています。また、施設によっては
設備が不十分で、時代に合わないも
も見受けられます。
町では今後40年間でハコ物の
延床面積を33%削減すること
を計画。インフラについては長
寿命化対策を講じるとしてい
ます。課題は、私たち町民が「自分
たちが使っていた施設がなくなるこ
とを受け入れられるか」ということ。
また財政面の問題に対して「33%の
削減では十分でない」という点です。



Check Point 新年度予算

議会の
視点

公共施設個別計画が、寄居町の将
来、町民福祉の向上に寄与するもの
になっているか。

新年度予算はこうなった



予算化!

7地区(市街地・西部・桜沢・折原・鉢形・男衾・用土)で
「アクションプラン」説明会を開催

庁内会議で、より具体的な内容を定めた
「アクションプラン」を策定し、平成31年秋以降、
外部専門家を交えての説明会を開催予定

説明会開催費用と
して

16.0万円

議会が町民皆さんの意見を聴き、
町の現状を考え、決算の数字を見て、
次年度予算への提言を行う。
提言が生かされた予算案が出たかを慎重審議し、
決算で事業の成果を徹底検証・評価。これが
「議会発 政策サイクル」



このサイクルのチェックポイントである
予算審議を終えた現段階で、昨年10月に
議会が提言した3項目について、
解説を交えて検証します。
全議員で徹底討議した「全会一致」の重み(*)を、
町はどう受け止めたのか。



(*) 議会は昨年10月、新年
度予算に向けた提言書を町
長に提出。詳しくは議会だより
No.90をご覧ください。



解説

あります!

新年度 予算に

議会からの提言は 反映されたか

議会発 政策サイクル

Check Point

1